

# 未来バンク

すべての人がおカネに意志を持たせる社会にする

ニュースレター 第8号 2022年7月

【コンテンツ】

1. 田中優
2. 木村瑞穂の金融コラム
3. 未来バンク記事掲載のお知らせ
4. 融資先紹介：認定NPO法人 TOKYO NOVYI・ART

## 田中 優 理事長

Tanaka Yū



### いよいよ電気の自給を

我が家は10年近く前から電気の自給をしている。電源は太陽光発電パネルで、家の庭の石段の上と屋根に設置している。合計で5kWほどだから決して多くはない。でも我が家にとってはかつての倍の量だから、とても多く発電しているように感じる。以前は庭の石段の上にずらって並べただけだった。高さが低いので、洗い流せる位置だった。太陽光発電パネルは表面が熱くなると発電量が下がるし、表面を水で流すだけで汚れが落ちて発電量が増える。だから高さが低くて水を掛けられる位置が良いのだ。

もう一つ大事だったのが、曇りの日にも少量ながら発電するタイプがいい。電気が厳しくなるのは梅雨や秋雨で雨が続く時期だ。その時期にわずかでも発電するタイプだととても助かる。電気が足りなくて外の喫茶店に出掛けていると、戻って帰ってわず

かながらバッテリーが回復しているととてもうれしい。残りで夜の間は何の電化製品が使えるか考えてほっとする。

我が家では10年間電力自給する中で、いろいろなバッテリーを試すことになった。やっぱり安定のバッテリーはリチウムイオンバッテリーで、どれだけ残っているのか知ることができるし、発電した電気を効率良く充電してくれるから、感度良くわずかな晴間にも充電量が増える。その点で鉛バッテリーはアナログにしか充電されていかない。

しかし鉛バッテリーはリサイクルできる点で良い。リチウムイオンバッテリーは原料が安くて再生できないために一度きりだ。

鉛は重いが鉛に価格がつくのでリサイクルされるがメンテナンスが必要だ。夏場はバッテリー液が蒸発するので浄水を補充しなければならない。怠っていると銅がこぼれてきて緑青（ろくしょう）になって固まる。その分だけ成分が減ったと思うと気が気じゃないし、実はその時、水素が出ている。福島原発ではないが、水素は爆発する怖い気体だ。バッテリーに水素発生はつきものだ。だから空間を閉じると、軽いから上部に集まってしまう。それが怖いのだ。水素は最も小さな元素だから封じ込めるのが難しい。

トヨタの水素自動車が出るまでもれなく使うことはできなかった。トヨタの水素自動車ではそれを薄く粘土を何層も重ねて封じ込めることで解決した。何層にもなった粘土を抜けようとする、迷路を抜けることになって、実質的に漏れなくなるのだ、これを「迷路効果」と呼ぶが、言葉の通りだ。だからバッテリー室は消防法上通気性が必要で、多くのバッテリーを並べるとはできない。我が家では上に通気する物置に置いていた。要はぼろ家なので通気性があったのだ。

今我が家のバッテリーは二つの「リチウムイオンバッテリー」だ。一つは「オリビン型リン酸鉄リチウムイオンバッテリー」で、性能が良く長寿命だ。もう一つは日産リーフの中古バッテリーだ。これはもともと車用なので、激しく使われることを前提にしている。急発進・急加速、バッテリーが減っていったって帰り着くまでは強引に走ってしまう。実はこれがリチウムイオンバッテリーにとって良くないのだ。ゆっくり使って満タンから10%少なく充電して10%残すというように、「中庸」だけ使うのがバッテリーを長く使うコツなのだ。家で使う分には急発進急加速はなく、「中庸部分」だけを使うこともできる。このバッテリーは車より家庭用に向いているのだ。我が家ではこれを、晴れた日には「温泉のかけ流し」のようにして使っている。

これを改造して設置してくれたのは、「自エネ組」の人たちだ<https://jiene.net/>。リーフの中古バツ

テリーだから消耗の激しいものは取り除き、入っている「板チョコ」のような「セル」の一つ一つにバッテリーマネジメントシステム(BMS)で値が設定されていて、見ようと思えばスマホから見て設定することもできる。もう一つ、「充電コントローラ」からも「満タン・カラ」を起こさないように設定しているので、心配はない。

このリーフの中古バッテリーの改造品が安かったのだが、折からの半導体不足やウクライナ戦争のあおりで価格が急上昇している。我が家に設置した時より三割は高くなってしまった。太陽光発電パネルも同様だ。残念ながら両方セットで160万円は掛かってしまう。それでも他の商品と比べたら格安だろう。約16kWh分も充電できるのだから。

これをぼくの複数の友人が設置することにした。自給か、もしくは電力会社の送電線とつないだまま使うためだ。電力会社の送電線とつないだままにするのは、万が一の時に心配なためでもあるが、もう一つ、電力会社の電気料金はほぼ一か月の消費量が100kWh以下であればとても安い電気料金ですむからだ。雨が降り続いて足りなくなった時だけ電力会社の電気を使えばいい。そうすれば安い価格で済むからだ。

この可能性ができたことを喜びたい。そこに未来バンクの融資を使いたい。うまく利用すれば、従来の電力会社の電気より安く暮らすことも可能だ。そうすると不公正極まりない電力会社とおさらばするか、最低の利用で生活が可能になる。未来バンクで検討したが融資すること自体には問題がなかった。ただ個人に融資するとなると、その返済可能性の見極めが大事になる。それがクリアできるなら積極的に融資したい。

そうすると未来バンクの融資が次の時代を切り開くことになる。未来バンクはこのような未来に融資したい。未来を作り出すことが未来バンクの使命だからだ。ぜひ検討してみてほしい。

# 木村 瑞穂

Kimura Mizuho

## 「ダオ(DAO)って、なに」

### ■ダオ(DAO)とは

DAOとは、Decentralized Autonomous Organizationの略で、日本語に訳すと「分散型自律組織」となる。でも、分散型自律組織といわれても何のことかわからないだろう。

社長や理事長のような意思決定者が存在せず、社員などの投票によって意思決定を行い、その意思決定に基づいて自律的に行動を起こす組織のことである。分散型とは社長や理事長がいないということであり、自律とは自動的・機械的に行動を起こすという意味である。

それでもまだわからない、そんな組織が存在するのかとお感じになる方は多いだろう。技術用語を用いるならば、ブロックチェーン上に記録されたプログラムによって動く組織でダオが誕生している。

株式会社という組織の発明が資本主義を大きく発展させたように、ダオという組織の発明が経済を大きく変えるのではないかと期待する向きも多い。

### ■ダオの事例と可能性

以前の金融コラムで銀行と同じ働きをする自動販売機のことを紹介した。この自動販売機もダオの一種である。自動販売機にお金を入れてボタンを押すと預金ができ、担保を入れてからボタンを押すとお金を借りることができる。この自動販売機はブロックチェーン上に記録されたプログラムで動いている。

この自動販売機の利用者にはガバナンストークンが配布される。ガバナンストークンの所有者は自動販売機の運営について提案をすることができるし、賛否の投票をすることができる。金利の決定方式や担保の掛け目を提案し、変更することができるのだ。

こうした銀行型の自動販売機は既に多数存在し、最大のものでは預かり資産が2兆円程度になっている。

ダオの仕組みを利用した組織には様々なものがある。資産規模14億円のGoldfinchはマイクロファイナンスの資金提供先をガバナンストークンの投票によって決めている。

ガバナンストークンは株式と似ているが、典型的なダオは所有権を持っていない。所有権を持たせて株式会社のように運用することも可能だが、ダオは所有権を切り離すことによって、より自由度の高い組織運営を可能とした。

従業員にガバナンストークンを配分して労働者協同組合のように運用することもできる。未来バンクのような融資組織であれば、出資者にガバナンストークンを配る他、審査に協力してくれた組合員にガバナンストークンを配ったり、特定担保融資の担保提供者にガバナンストークンを配ることもできる。

### ■ダオの実態

しかしながら、ダオについては理念が先行し、現時点では実態が全く追いついていない。

社長や理事長のような代表者はいないが、人間の管理者は存在する。投票で可決された提案を実行するために、プログラムを組んでシステムに実装する必要があるからだ。この管理者が投票結果に忠実に従ってくれるなら良いのだが、実際には恣意的にチョイスして実装されることが多い。

しかも、ほとんどのケースでは管理者の氏名は公開されていない。管理者の選定基準も全く公開されていない。

また、みんなで提案し、投票して意思決定しているといっても、待っているだけでは誰も提案しない。実際に活動しているダオでは、特定の人が独裁的に仕切っているのがほとんどである。特に設立されたばかりのダオでは独裁者がいなければ機能しない。

## ■南海泡沫事件とミシシッピー会社

株式会社も今でこそ制度が整ってきて詐欺はかなり減ったが、かつては詐欺だらけだった。

最も有名でかつ大規模だったのが南海泡沫事件である。外国との貿易を行うイギリスの南海会社という株式会社が、決算操作で株価を吊り上げた。半年で株価は10倍になったが、当然その後大暴落した。かの有名な物理学者ニュートンも大損したことで知られている。

この事件をきっかけにイギリスでは会計監査の制度が導入されるようになった。

ミシシッピー会社の詐欺事件も大規模だった。ジョン・ローという経済学者がフランス財務省を巻き込んだ事件だ。かつてはフランス領だった北アメリカ

のミシシッピーを開発する株式会社を設立した。実際には何も開発をしていないのに、積極的な宣伝を行い株価は暴騰した。その後、財務省の発行したすべての国債を株式と交換して、フランス政府の借金をすべて帳消しにした。しかしながら、当然バブルは崩壊し、フランス経済に大きな痛手を与えた。

## ■詐欺師の集団がやって来る

ダオはまだ始まったばかりだ。実績は乏しいし、制度の整備も進んでいない。米国ワイオミング州ではダオの法人格を認める法律が施行されているが、法人の設立はあまり進んでいない。

現状では、ダオを名乗る組織で真にダオの名に値するところは皆無といってよい。ネット上の単なるコミュニティをダオと名乗っていたり、単に資金集めのためにダオを名乗っているところが多い。

ダオが将来どうなるかは全く未知数だ。

しかし、間違いなく言えることが一つだけある。

あなたの前にダオを名乗る詐欺師が大量に現れるだろう。

# 未来バンク記事掲載のお知らせ

Imidas : 「未来バンク」金融に市民の意志と信頼を反映する  
[https://imidas.jp/latingang/?article\\_id=l-70-037-21-11-g471](https://imidas.jp/latingang/?article_id=l-70-037-21-11-g471)

情報・知識&オピニオン  
**imidas**  
© イミダス・集英社

ジャーナリストの工藤律子さんにご取材いただき、「未来バンク」についてとてもわかりやすくまとめたいただいた記事が、imidasに掲載されました。その中から出資者様への取材内容を掲載します。

## ■信頼に基づく融資

「お金とは、信用です。このお金を『いいお金にしよう』という思いを共有する者同士の貸し借りであるところが、未来バンクの魅力ですね」

そう微笑むのは、茨城県つくば市で知的ハンディキャップのある人たちと有機農業や芸術活動などに取り組むNPO法人「自然生（じねんじょ）クラブ」の施設長、柳瀬敬さん（63）だ。

自然生クラブでは、2005年にグループホームを建てる資金のつなぎ融資を申請したのを皮切りに、過去4回の融資を受けている。柳瀬さんは言う。

「地方銀行がお金を貸してくれない中、田中優さんが書かれたものを読んだりして、未来バンクに辿り着いたんです」

限られた地域や業種に融資する信用組合・信用金庫のような金融機関からも、担保がないとお金を貸さない銀行からも融資を受けられなかったため、NPOバンクが頼りとなった。

多摩川の水環境を守り、その流域に暮らす市民が川と共に健やかに生活するための事業を進めるNPO法人「多摩川センター」代表理事の山道省三さん（71）も、同じ多摩川流域で活動する仲間から紹介され、未来バンクにつなぎ融資を申請した。

「私たちの団体は、会費収入だけでは運営していけないので、収益を得るために国の事業を受託しています。しかし、その受託費が支払われるまでの間、運営費が不足するんです。そこで、未来バンクを利用することにしました」

山道さんによれば、融資を受けた際にきちんと返済を行っていけば、信頼によって融資の継続もスムーズにできることが、未来バンクを利用するメリットだという。

## ■NPOバンクの未来

現在、未来バンクが融資の相談を受けたり、融資を決めたりしている事業は、年に10件程度だ。「今は、お金を借りて返せる市民団体は決して多くないので、融資希望者は減っています」

と、田中さんはNPOバンクの利用の現状をそう話す。クラウドファンディングが広まったことで、返済が必要なNPOバンクによる融資を受けるよりも、「寄付してもらおうほうが楽」だと考える人が増えているようだ。近年、国（日本政策金融公庫）がNPOも対象に実施している融資の金利が、一般のNPOバンクよりも低く設定されていることも、融資希望者減少の一因になっているという。

もうひとつ、NPOバンクを長年悩ませていることがある。それは、社会問題化した「サラリーマン金融（サラ金）」への規制を強化するために改正を繰り返してきた「貸金業法」の下で活動せざるをえないという現実だ。貸金業の登録や3年ごとの更新の際にかかる15万円の手数料も大きな負担となって

いる。

「資金規模の小さなNPOバンクは、その登録手数料をメンバーが出し合ったお金で払っているんです。おかしな話です」

そう言う田中さんは、本来ならば「NPOバンク法」を作り、その事業目的や意義に沿った法律の下で活動できるようにすべきだと考える。にもかかわらず、「企業以外の社会的組織の存在意義を十分に認めないこの社会で法律作りを主張しても、相手にされていない」と感じている。

そんな中、NPOバンクの可能性を広げるため、田中さんたちはあることを考え始めた。

「未来バンクで、クラウドファンディングの仕組みを用いた融資を行う、というアイデアがあります」

「クラウドファンディング」は、通常、資金が必要な個人やグループ、団体が、プロジェクトを立ち上げて、クラウドファンディングを運営するサイトにアップし、寄付や出資を募る仕組みだ。寄付・出資をした人（支援者）には、金額に応じて「リターン」と呼ばれる何らかの見返りがある。寄付型、購入型、融資型などさまざまな形式があるが、集まった額の10～20%前後はサイト運営者に手数料として差し引かれる。

「これは、金利をそれだけ取られるのと同じことです。それならば、未来バンクに集まっているお金を、特別担保提供融資のような形で、組合員が応援したいと思うプロジェクトに渡して、手数料を1%だけもらうほうがいいじゃないですか」

と、田中さんは提案する。

確かにそれこそ、市民による市民のためのクラウドファンディングだ。

そうやって出資者一人ひとりの意志を反映する形で集まっているお金を、信頼関係に基づいて応援したいと思う人や団体に託し、地域や社会をよりよくする活動を推進する。市民のつながりから生まれたNPOバンクなら、そんな未来を創ることもできるかもしれない。

# 融資先の活動紹介

## 認定NPO法人 TOKYO NOVYI・ART



▷ 学術、文化、芸術

▷ <https://tokyo-novyi.com/>

私たち認定NPO法人 TOKYO NOVYI・ART（トウキョウノーヴィアート）は、古典作品を中心とする演劇公演と、俳優の育成教育を行っている劇団です。

今から20年ほど前にさかのぼりますが、私たちはウラジオストックの国立ドラマ劇場で芸術監督、兼主席演出家として活躍していたレオニード・アニシモフ氏と知遇を得たことから、以後、継続して日本に招聘し、氏の演出による質の高い舞台作品を上演し続けてきました。そのほか、氏の長年にわたる経験と知見を活かした実践的な俳優の育成・教育活動も行っています。

私たちの目標は、本格的な質の高い演劇文化を日本に作り上げることです。私たちが目指しているものを理解していただくために、ここで私たちの団体の創設者を紹介したいと思います。もう故人となっていますが、本名を吉沢京夫（よしざわたかお）、長年にわたり演出家、俳優教育者として活躍されていた方です。

1976年、「日本に、真に“芸術”の名に値する演劇を創りたい」という熱い志を抱いて、私財を投じて演劇研究所を創設されました。吉沢が47歳の時です。



▷ 2018年11月 ロシアのノヴゴロド市での「古事記」招聘公演時の集合写真 ノヴゴロドフィルハーモニーホール前にて

「日本という国は、一見、文化大国の様相を呈しているものの、演劇界の実情として、俳優をはじめとする演劇人のほとんどは、舞台の仕事だけで生計を立てていくことができず、また専門の演劇教育を受けるための国立の演劇大学を持たず、そして何よりも、劇団が自身の劇場を持つことが出来ていない。

国内の2千とも3千ともいわれる劇団のほとんどが「貸し劇場」と「貸し稽古場」を借りて、年に1～2回の公演しか打てない。現実にはこのような劣悪な環境の中で、本当に諸外国に比べても遜色のない、質の高い演劇を生み出せるだろうか？」と問題提起をされ、その答えとして、「常設劇場を抱えた劇団による“レパトリーシステム構想”」、そして地方都市からの文化芸術発信として「地方都市構想」を提唱されました。彼の構想は、「本物の“芸術”と呼ばれる演劇」を創ることと同時に「芸術活動を支える新しい社会基盤」を創り出すことでした。

「おそらく、本当に我々の求めるものが実現するには100年以上かかるが、『いつか誰かがやってくれるだろう』ではなく、今、自分たちでやらなければ永遠に手に入らないんだよ」と熱く語っていました。残念ながら吉沢は、1999年、肺癌のために亡くなりますが、晩年にアニシモフ氏と出会ったことで、彼の意志は現在の私たちの活動にバトンタッチされ、脈々と続いています。

私たちの作品は、国内外の古典をレパトリーとしていますが、例えば日本の作品では、2005年に公開された近松門左衛門作の「曾根崎心中」、2007年の宮沢賢治原作「銀河鉄道の夜」は国内外で高い評価をいただいております。

また、2014年シアターカイ国際舞台芸術祭で初公開された神話劇「古事記」は海外の国際演劇祭に何度も招聘していただきました。アニシモフは世阿弥の演劇論に強く感銘を受け、東京都東中野にある梅若能楽学院会館の能舞台を使って、数々の作品を作り上げています。上記「古事記」ほか、サンテグジュペリ「星の王子さま」、チャーホフ「桜の園」など多くの作品が高い評価をいただいております。



▷ 「古事記」リハーサルの様子

現在、コロナの影響でライブでの舞台公演が打ちにくくなっていますが、私たちのオンライン配信公演は「映画でも舞台でもない、もう一つの新しい表現」とお客様から感想を戴いております。ホームページで、その映像を公開しておりますので、ぜひ一度、私たちのサイトをお尋ねください。

<https://tokyo-novy.com/>

TOKYO NOVY・ART 岡崎弘司



▷ 「曾根崎心中」



▷ 「鉄輪（かなわ）」

## 2022年の公演活動

4月24日／5月1日 ゴーゴリ「検察官」オンライン公演

6月11日 サンテグジュペリ「星の王子さま」能楽堂公演

12月3日～4日 ゴーゴリ「検察官」能楽堂公演 ※今回はオペラバージョンで演出される予定です

HPにて映像作品や、公演のダイジェスト版を公開しています。

<https://tokyo-novyi.com/movies/>

### 「アートにエールを！」参加作品

宮沢賢治「どんぐりと山猫」



心に灯を「演劇芸術の魅力語る」



近松門左衛門「曾根崎心中」ダイジェスト映像



Film production by TOKYO NOVYI・ART  
Director by Leonid Anisimov  
Originally written by Monzaemon Chikamatsu

宮沢賢治「銀河鉄道の夜」ダイジェスト映像（英字幕入り）



Film production by TOKYO NOVYI・ART  
Director by Leonid Anisimov  
Originally written by Kenji Miyazaki

## 未来バンクとは

市民が組合員となって出資していただいた資金を、環境・市民事業・福祉の目的に関して、市民やNPO団体・法人が起こす社会的有用性の高い事業や取り組みに対し「融資」という方法で支援することを目的に設立された、市民による市民のための非営利バンクです。

出資者のみなさまの夢のこもったお金を通じて、想いと人をつなぎ、住みよい未来を育てていきます。

### 融資実績

融資累計件数：438件 融資累計額：約14億38百万円（2022年6月時点）

2021年12月～2022年6月 融資件数：3件（他4件問合せあり）

融資の申し込みをご検討の方は、ウェブサイト内の「融資を受ける」をご覧ください。お問い合わせをお待ちしています。

<https://mirai-bank.org/loan/>



未来バンクの趣旨にご賛同いただける方は、出資をご検討ください。詳細はウェブサイト内の「出資・応援する」をご覧ください。

<https://mirai-bank.org/investment/>



未来バンクニュースレター 第8号

発行・編集：未来バンク事務局

発行日：2022年7月

 未来バンク  
MIRAI BANK

連絡先：〒132-0033

東京都江戸川区東小松川3-35-13-204

市民共同事務所「市民ファーム」内

TEL/ FAX：03-3654-9188

HP：<https://mirai-bank.org/>

MAIL：[info@mirai-bank.org](mailto:info@mirai-bank.org)